

特集

グランピング

大競合時代に求められる体験価値とは



テーマパーク

サンリオピューロランドに6年ぶりの新アトラクション
キャラクターと写真撮影ができる「キャラグリレジデンス」がオープン

(株)サンリオエンターテインメントが運営するサンリオピューロランドは7月15日、6年ぶりの新アトラクション「キャラグリレジデンス」をオープンする。来場目的のなかで大きな割合を占める「自分の大好きなキャラクターに会いたい」という要望に応えるため、多くのキャラクターと会える場を提供する。料金は無料(別途入場料)。

同アトラクションは、期間限定のアトラクションが開催されるサンリオタウン1階ストロベリーホールに開設。2016年オープンの「ぐでたまらんど」と入れ替わって運営する。「たくさんのキャラクターが暮らす高級マンション」をイメージしたグリーティングアトラクションで、テーマごとにデザインされた5つの部屋には、マイメロディ、ポムポムプリン、シ

ナモロール、パッドばつ丸、ポチャッコなどの人気キャラクターが登場し、一緒に写真撮影ができる。

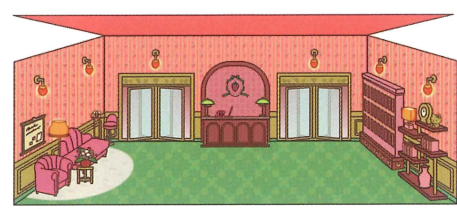
今回のアトラクションでは、より多くの来場者に楽しんでもらえるように、同施設初となるデジタル整理券発券システムを導入。キャラグリレジデンスのエントランスホールに設置されたシステムで希望のキャラクターや人数を選び、表示される二次元コードをスマートフォンで

読み込むことで時間指定の整理券を取得できる。デジタル整理券1枚につき、手持ちのカメラで1枚写真撮影が可能だ。

同アトラクションのオープンに伴い、キャラクターが登場しグリーティングを行なうサービス「ぎやらぐりスポット」の運営は7月12日で終了するが、「レディキティハウス」や「館のレストラン」などでは引き続きキャラクターが登場する。



キャラクターたちの暮らす高級マンションをイメージ。登場キャラクターは事前にホームページで発表する



エントランスホールイメージ。デジタル整理券発券後は指定時間までの待ち時間を有効活用できる。

©2022 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN 著作 株式会社サンリオ

テーマパーク

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが、
特別ツアー参加者専用のVIPラウンジ開設

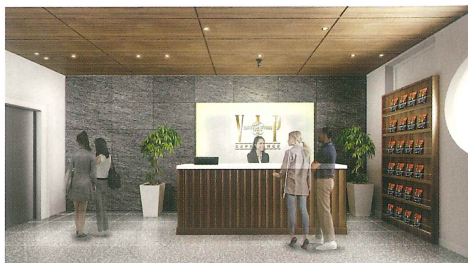
ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは7月1日、「ユニバーサル VIP エクスぺリエンス」参加者のみが利用できる「VIP ラウンジ」を開設した。

「ユニバーサル VIP エクスぺリエンス」とは、専任のガイドがパーク内を案内する特別なツアー商品。ツアー参加者専用入口からのパーク入場や、人気アトラクションの待ち時間を大幅に短縮できるアトラクション優先案内なども受けられる

など、ワンランク上のパーク体験ができる。家族や友人だけで自由にプランを組める「プライベート・ツアー」(5時間・8時間)と、複数のグループでおすすめの体験プランを楽しむ「グループ・ツアー」(3時間)を用意している(5時間のプライベート・ツアーは不催行の場合あり)。

今回、開設した「VIP ラウンジ」は、同ツアー参加者専用の“おもてなし空間”。1階の専用カウンターのあるロビーから

入場し、2階へ上がると、テーブルやいす、ソファなどが用意されたラウンジが広がる。軽食やドリンクも用意されており、ツアー参加者は好きなものを選べる。パークの喧騒から離れ、くつろぎながらこれからの体験内容について相談したり、思い出話を交わすなど、特別な時間を過ごすことができる。



1階の入り口部分イメージ



2階のフロアではゆったりくつろぐことができる

TM & © Universal Studios. All rights reserved.

リゾート・観光

リビエラリゾート、三浦と逗子のマリーナ2か所に
サウナも備えるグランピングホテル

神奈川県を中心にマリーナ事業を展開する(株)リビエラリゾートは7月7日、同社が所有運営する2つのマリーナにグランピングホテル「SPACE KEY POINT(スペースキーポイント)」を開業する。

オープンするのは、「リビエラ逗子マリーナ」(神奈川県逗子市)と「リビエラシーボニアマリーナ」(神奈川県三浦市)の敷地内。「リビエラ逗子マリーナ」では、2020年に開業し注目の集まるマリブホテルに次ぐ新たな宿泊施設となる。

SPACE(客室) 外観は、丸みを帯びた近未来的なデザインで、目の前に広がる海の眺望を満喫できるよう、一面ガラス窓を採用した。客室数は、「リビエラ逗子マリーナ」が4室、「リビエラシーボニアマリーナ」が5室。

客室はプライベートデッキを備え、専

用のバーデプール(水着着用必須)も設置。新鮮な魚介や野菜など、地元産の食材を使用したバーベキューも楽しめる。愛犬の同伴宿泊も可能。

また、敷地内には宿泊者限定で利用できる完全貸切制の独立型サウナも設置。セルフウォッシュが可能な本格フィンランド式サウナで、「ととのい」スペース

として水風呂も利用可能な水平線が広がるオーシャンビューの専用デッキも設ける。このほか、「リビエラシーボニアマリーナ」では、季節に応じて絶景地に移動可能な無煙テントサウナを、「リビエラ逗子マリーナ」には絶景サウナSPACEを常設する。



完全貸切制の独立型サウナ(イメージ)



丸みを帯びた近未来的なデザインの客室は宿泊客の居場所として[SPACE]とネーミング。一面のガラス窓でオーシャンビューを可能に

リゾート・観光

奥飛観光開発、
新穂高ロープウェイの山頂エリアをリニューアル

名古屋鉄道(株)と奥飛観光開発(株)は5月、中部山岳国立公園内にある「新穂高ロープウェイ」(岐阜県高山市)のリニューアルについて発表。第1弾として、標高2,156mの山頂エリアにある西穂高口駅と、千石園地(せんごくえんち)を一体的に開発する。

千石園地は、奥飛観光開発(株)が主体となり二期にわたって工事を実施予定で、I期ではブーメラン状のデッキを整備する(10月19日オープン予定)。槍ヶ岳の眺望を楽しめる千石園地から大きく張り出した造りとし、自然に囲まれながら飲食などが楽しめるという。II期の工期は、23年5月~10月。2,000m超の標高で、原生林や槍・穂高連峰の岩稜帯を山歩きする雰囲気を感じられる散策路など

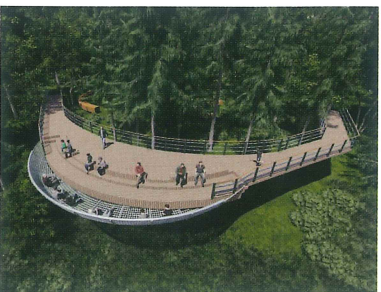
の整備を進める。

西穂高口駅は、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで2つ星として掲載されている屋上展望台や、物販店舗等のリニューアルを実施。新たな区画を屋上展望台に整備するなど、今後、千石園地の整備計画と連動させながら、整備時期などの詳細を検討していく。西穂高口駅の整備時期などは今後検討する。

同ロープウェイは、今回リニューアルを行なう山頂エリアのほかに、新穂高温泉に立地する「山麓エリア」、鍋平高原が広がる「中間エリア」の3エリアに分かれている。今後約10年かけて順次整備予定で、各エリアの特徴を存分に活かした、上質な自然体験型施設の整備を行なっていくという。



開発計画エリア



槍ヶ岳を眺めるデッキ(完成イメージ)